

令和3年度 第5回運営推進会議 看護小規模多機能ホームやすらぎ	記載日	令和3年12月14日
議題	1. 利用状況 2. 交流・行事の実施状況 3. 事故・苦情の状況 4. その他	
日時	令和3年12月14日(火) 10時～11時	
紙面開催 敬称略	三入・可部地域包括支援センター センター長 井田 浩美 佐々木 真知子 ご利用者家族代表 植田 美鈴 広島市民生委員 藤原 照夫 上中3区 町内会長 三反田 學 グループホームなごみの郷 管理者 廣森 靖司 看護小規模多機能ホームやすらぎ 管理者 長田 美紀 計画作成担当者 泉 辰徳	
議事	<p>事前に、書面にて報告書を送付し、意見・承認をいただいた。</p> <p>① 【利用状況（令和3年11/30現在）】</p> <p>看護小規模多機能型居宅介護登録者：26名</p> <p>要介護1：0人 要介護2：2人 要介護3：5人 要介護4：10人 要介護5：8人（区分変更申請中1人）</p> <p>*平均介護度：3.92（前回報告時3.82） *平均年齢：88.67歳（前回報告時84.35歳）</p> <p>・新規利用… 10月：3名 11月：5名 理由：ターミナルケア、看取り ・利用終了… 10月：3名 11月：5名 理由：ご逝去</p> <p><u>通い</u></p> <p>利用者実数：26名/登録26名 一日平均利用者数：13.37名</p> <p><u>訪問</u></p> <p>看護：19名 介護：20名</p>	

泊まり

泊り利用の実人数 12名/26名
平均宿泊者人数 6.01名/日
延べ宿泊者数 372名(10/1~11/30)
長期宿泊者人数 1名
長期となっている理由

- ・介護者療養中、施設入所待ち

② 【交流・行事等の実施状況】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大予防のために交流会や外部ボランティアは自粛中。ご利用者の様子についての情報は連絡ノートの活用や電話連絡も含め個別に実施。
- ・少人数でのレクリエーションの実施
- ・軽体操 (DVD 体操)
個別趣味活動 (編み物・塗り絵・工作・天風録の転写など)
大々的な行事は「密」を避けるため実施していない。少人数グループで毎日プログラムを組み実施中。
- ・利用中の面会は必要性を家族と検討し対応中

③ 【事故・苦情の状況 (10/1~11/30)】

- 事故 0件
- 苦情 0件

④ 【その他・今後の予定】

【面会等の緩和について】

広島市(厚労省通達)より、介護保険施設のご利用時の対応で、面会制限・外出、活動の緩和を、感染予防対策を講じたうえで行うように連絡があった。現在、少しずつ条件提示を行いながら緩和は行っていたが、オミクロン株の動向を見ながら慎重に対応していく。

⑤ 【意見交換・地域情報共有】

(看護小規模多機能ホームやすらぎから)

- ・12/4 受付の苦情についての相談 (相談内容は別紙参照)

当事業所が虐待をしていると電話で苦情があり、対応した。12/11 に、別人として再び電話があったが、呂律が回っておらず、粗暴な言葉がつづき対応に困っている。当事業所へ直接電話をするのではなく、階下の別の事業所へ毎回かけてこられている。訪問介護業務への支障も出てきている。

本日の会議で、当事業所としての対応をどのようにしたら良いのかと、おそ

らく問題を抱えていると考えられる電話の相手の方について検討した。

(10月下旬に隣接する集合住宅から罵声が長時間にわたり聞こえることが続いていたので、民生委員の藤原様に相談した経緯もあった)

(民生委員 藤原様)

10月に長田さんより、相談を受けて可部小学校に虐待や不登校の児童がいるか確認した。可部小学校より、「いません」と返答があった。

安佐北区生活課の三浦ケースワーカーに事情説明し、思い当たるケースがあるとのこと。12/20 民生委員の定例会があり、そこで情報提供を行う。あわせて、明日にでも生活課の担当者にこの件を報告し、介入してもらう必要があると考える。後で、対象者のポストに民生委員の名刺をいれておく。

(三入・可部地域包括支援センター 井田様)

支援が必要と思われる方は、保健師とつながっているのだろうか。医療的なアプローチも必要。苦情の電話に関して、業務妨害にあたる可能性あり。社会常識に反している部分もあるので毅然とした態度で対応が望ましい。着信拒否も良いのではないだろうか。警察への相談も必要かと思う。

(町内会長 三反田様)

該当する建物は町内会を脱会している。本来ならば、町内会から離れた住人の管理は管理人が行うべきである。しかしながら、現実的な話ではない。こういった案件は、長田さんだけが対応しない方が良いと思う。法人として、大きなことに発展した時の専門部会は設置しているのか。万が一のときに備えて対応策を考えておいた方が安心ではないだろうか。

(ご利用者家族代表 植田様)

内容を聞いて、率直にやすらぎが気の毒だなと感じている。実際、利用している側としては、言われているようなことはない。住宅地の中にある事業所なので、こういうこともあるんだなと初めて知った。

(グループホームなごみの郷亀山 廣森様)

管理者になって、自施設ではこのようなケースを経験したことがなかった。ただ、地域にはいろんな方が住んでおられるので、今回の報告と協議内容は大変参考になった。

(看護小規模多機能ホームやすらぎ 長田)

今回の件は、法人内の委員会と上長には報告済。数日様子を見ることにはしているが、場合によっては警察への通報も考えている。正直、2回目の電話で自分の名前を連呼された点は恐怖心を抱いた。あとで番号を照合して1回目のときと完全一致した点で同一人物であることと、何らかの問題を抱えておられることが推察された。今回、この会議で皆さんにご協力とご助言をいただき今後の対応について見えてきたことで少し安心している。何かしら支援が必要な方であることはわかっているので、今後も皆様のご協力を賜りたい。

⑥【連泊利用者の承認】

11月以降、基礎疾患の急性増悪から回復が思わしくなく、ご家族の意向で事業所内ターミナルケアを実施し、事業所でご逝去。よって、30日を超える長期連泊者現在はいない。

【次回運営推進会議… 令和4年2月8日（火）10：00～を予定】

以上